

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

事務事業名		畜犬登録事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続		継続		事務事業No.		041104000240	
総合計画の施策名		単独/補助		単独		所属課		030301	
政策名		0411		生活環境の保全		主要事業		環境対策課	
施策名		04		快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト			
基本事業名		11		生活環境の保全		未来PJ事業		グループ	
04		犬の登録及び適正管理の推進		合併建設計画事業		合併建設計画事業		環境公害対策G	
財務会計上の位置付け		事業期間		事業期間		事業期間		事業期間	
予算科目		会計		目		一般会計		単年度繰返し (年度~)	
01		04		01		03		02	
00		環境衛生事業		環境衛生事業		環境衛生事業		環境衛生事業	
法令根拠		狂犬病予防法		狂犬病予防法		狂犬病予防法		狂犬病予防法	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>狂犬病予防法に基づき、犬を飼養しようとする場合生涯1度の犬の登録が必要であり、その登録管理及び狂犬病予防注射の推進を行う。</p>	<p>犬の登録申請受付、注射済票交付申請受付、鑑札交付、注射済票の交付、死亡届及び所在地変更等の登録管理事務</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 犬の登録鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付。 登録情報管理事務 	啓発活動回数	回	3.00	2.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
桜川市で飼養されている犬登録されてる犬またその飼い主	登録犬件数	件	3,028.00	2,932.00	2,950.00	2,950.00	2,950.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
登録管理をすることで狂犬病予防注射の接種率を向上させ、狂犬病の発生及び蔓延防止に寄与する。	新規登録件数	件	151.00	140.00	150.00	150.00	150.00
	狂犬病予防注射の接種頭数	頭	2,050.00	1,964.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	
	述べ業務時間	時間	284.00	203.00	240.00	240.00	240.00
	人件費計 (B)	千円	824	589	696	696	696
トータルコスト (A)+(B)		千円	824	589	696	696	696

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0			合計

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	畜犬登録事業	事務事業No.	41104000240	所属課	環境対策課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和25年の狂犬病予防法の制定に基づき予防注射が義務付けられ予防注射の接種率向上のため登録管理により飼主への啓発を行っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 主に犬を飼っていない家庭から、飼主のマナーの向上(放し飼い、糞害、しつけ、吠える等)について啓発を強化してほしい等の要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	適正な飼養について継続したPRをすることは接種率の増加、飼育モラルの向上が図られ、苦情が減少しよい環境に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	狂犬病予防法の規定により実施するもので、登録・予防注射・適正な飼養管理を行う。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	未登録、予防注射の未接種を減らすため継続的な啓発の実施
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法律の規定によるものであり、人間にも重大な危機をもたらす狂犬病の発生を抑制するためには廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 狂犬病予防事業 第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	狂犬病予防事業の集合注射実施時に畜犬登録事業の新規登録事務もやっている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	登録の鑑札の費用であり削減はできない。 必要最小限度の経費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	登録手数料の個人負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	飼い主のマナーの低下が、野犬の増加などにつながると思われる。 今後は、広報紙や行政区長などを通じて啓発活動が必要となる。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 飼養マナーの向上や登録の義務などについての啓発が必要。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト			維持	削減	維持	増加	低下		○	
成果	向上		コスト											
	維持		削減	維持	増加									
	低下		○											
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	⑤													
コスト削減優先度評価結果	⑧													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>